

新改訳 それで私は自分をさげすみ、ちりと灰の中で悔いています。
 新改2017 それで、私は自分を蔑み、悔いています。ちりと灰の中で。
 口語訳 それでわたしはみずから恨み、／ちり灰の中で悔います」。
 文語訳 是をもて我みづから恨み塵灰のなかにて悔ゆ
 協会共同 それゆえ、私は自分を退け／塵と灰の上で悔い改めます。
 新共同 それゆえ、わたしは塵と灰の上に伏し／自分を退け、悔い改めます。
 フラン訳 それ故、わたしは塵と灰の上に座り、私の言葉を忌み、悔い改めます。
 バルバ口 そのために私は自分の愚かさにあきれ、ちりと灰の上で悔い改めます。
 関根正雄 それゆえ、わたしは無に帰し／塵灰のなかで悔い改めるほかありません。
 並木浩一 それゆえ、わたしは退けます。また塵灰であることについて考え直します。
 グティエレス わたしは塵と灰を拒絶し、捨て去ります(これについてのわたしの考えを改めます)
 R.ゴルディス それ故わたしはへりくだり／塵灰の中で悔い改めます。
 L.Perdue I reject and am comforted over dust and ashes.
 私は拒否し、塵と灰の上で慰められます。
 JPS Wherefore I abhor my words, and repent, seeing I am dust and ashes.
 KJV Wherefore I abhor myself, and repent in dust and ashes.
 LXA Wherefore I have counted myself vile, and have fainted: and
 I esteem myself dust and ashes.
 NAS Therefore I retract, And I repent in dust and ashes."
 NIV Therefore I despise myself and repent in dust and ashes."
 LUT Darum spreche ich mich schuldig und tue Buße in Staub und Asche.
 VUL idcirco ipse me reprehendo et ago paenitentiam in favilla et cinere

(神に抗議する)

ヨブ 6.28 今、思い切って私のほうを向いてくれ。あなたがたの顔に向かって、私は決してまやかしを言わない。
 6.29 どうか、思い直してくれ。不正があってはならない。もう一度、思い返してくれ。私の正しい訴えを。
 6.30 私の舌に不正があるだろうか。私の口はわざわざをわきまえないだろうか。
 ヨブ 9.21 私は潔白だ。しかし、私には自分自身がわからない。私は自分のいのちをいとう。
 9.22 みな同じことだ。だから私は言う。神は、潔白な者をも悪者をも共に絶ち滅ぼされる。
 ヨブ 10.02 私は神に言おう。「私を罪ある者となさらないように。なぜ私と争われるかを、知らせてください。
 10.03 あなたが人をしいたげ、御手のわざをさげすみ、悪者のばかりごとに光を添えることは良いことでしょうか。
 10.04 あなたは肉の目を持っておられるのですか。あるいは、人間が見るように、あなたも見られるのですか。
 ヨブ 10.20 私の生きる日はいくばくもないのですか。それではやめてください。私にかまわないでください。私はわずかも
 明るくなりたいのです。
 ヨブ 13.23 私の不義と罪とはどれほどでしょうか。私のそむきの罪と咎を私に知らせてください。
 13.24 なぜ、あなたは御顔を隠し、私をあなたの敵とみなされるのですか。
 13.25 あなたは吹き散らされた木の葉をおどし、かわいたわらを追われるのですか。
 13.26 突にあなたは私に対してひどい宣告を書きたて、私の若い時の咎を私に受け継がせようとする。
 13.27 あなたは私の足にかせをはめ、私の歩く小道をことごとく見張り、私の足跡にしろしをつつけられます。
 13.28 そのような者は、腐った物のように朽ち、しみが食い尽くす着物のようになります。
 ヨブ 19.07 見よ、私が、「これは暴虐だ」と叫んでも 答えはなく、助けを求めて叫んでも、それは正されない。
 19.08 神が私の道をふさがれたので、私は過ぎ行くことができない。私の通り道にやみを置いておられる。
 ヨブ 21.07 なぜ悪者どもが生きながらえ、年をとっても、なお力を増すのか。
 21.08 彼らのすえは彼らとともに堅く立ち、その子孫は彼らの前に堅く立つ。
 21.09 彼らの家は平和で恐れがなく、神の杖は彼らの上に下されない。
 ヨブ 24.22 しかし、神は力をもって暴虐な者たちを生きのびにされる。彼はいのちがあるとは信じられないときにも立ち上がる。
 ハバクク 1.02 主よ、私が助けを求めて叫んでいますのに、あなたはいつまで、聞いてくださらないのですか。私が「暴虐」と
 あなたに叫んでいますのに、あなたは救ってくださらないのですか。
 1.03 なぜ、あなたは私に、わざわざを見させ、労苦をながめておられるのですか。暴行と暴虐は私の前にあり、
 闘争があり、争いが起こっています。
 1.04 それゆえ、律法は眠り、さばきはいつまでも行われません。悪者が正しい人を取り囲み、さばきが曲げて行われています。
 詩編 22.01 指揮者のために。「晩の雌鹿」の調べに合わせて。ダビデの賛歌 わが神、わが神。どうして、私をお見捨てになったの
 ですか。遠く離れて私をお教いにしないのですか。私のうめきのことばにも。
 22.02 わが神。昼、私は呼びます。しかし、あなたはお答えになりません。夜も、私は黙っていられます。
 マタイ 27.46 三時ごろ、イエスは大声で、「エリ、エリ、レマ、サバクタニ」と叫ばれた。これは、「わが神、わが神。どうして
 わたしをお見捨てになったのですか」という意味である。
 マルコ 15.34 そして、三時に、イエスは大声で、「エロイ、エロイ、ラマ、サバクタニ」と叫ばれた。それは訳すと「わが神、わが神。
 どうしてわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。
 詩編 10.01 主よ、なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか。
 創世記 18.23 アブラハムは近づいて申し上げた。「あなたはほんとうに、正しい者を、悪い者といっしょに滅ぼし尽くされるのですか。
 18.24 もしや、その町の中に五十人の正しい者がいるかもしれません。ほんとうに滅ぼしてしまわれるのですか。その中に
 いる五十人の正しい者のために、その町をお救しにはならないのですか。
 18.25 正しい者を悪い者といっしょに殺し、そのため、正しい者と悪い者とが同じようになるというようなことを、あなたが
 なさるはずがありません。とてもありえないことです。全世界をさばくお方は、公義を行うべきではありませんか。」
 「公義」 עֲדָוָה עֲדָוָה decision by arbitration, legal decision, justice n.ms.abs
 κρίσις κρίσις judgment, right in the sense of justice, righteousness n.acc.fs
 イザヤ 1.21 どうして、遊女になったのか、忠信な都が。公正があふれ、正義がそこに宿っていたのに。今は人殺しばかりだ。
 「公正と正義」
 ヨナ 4.01 ところが、このことはヨナを非常に不愉快にさせた。ヨナは怒って、
 4.02 主に祈って言った。「ああ、主よ。私がまだ国にいたときに、このことを申し上げたではありませんか。それで、私は
 初めタルシシュへのがれようとしたのです。私は、あなたが情け深くあわれみ深い神であり、怒るのにおそく、恵み
 豊かであり、わざわざを思い直されることを知っていたからです。
 4.03 主よ。今、どうぞ、私のいのちを取ってください。私は生きているより死んだほうがましですから。」